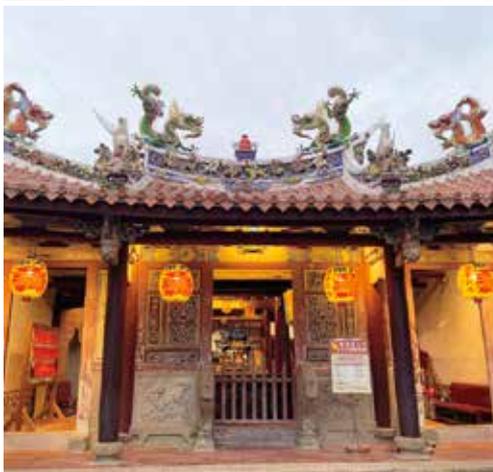




### 写真説明

上段左から／志賀哲太郎をしのび、墓に花をささげる一行／莊嚴な墓  
下段左から／文昌祠(上が当時、下が現在)／志賀哲太郎記念室の展示



台のタブレット端末と電子黒板を使い、全て英語で授業が進められていました。

### 志賀哲太郎をしのぶ

友好交流協定を結びきっかけとなった志賀哲太郎をしのぶため、西村町長たちは、鐵砧山を訪れました。

ここには、哲太郎の墓があります。周辺は教え子たちにより、よう壁が整備されていて、さらに、哲太郎の墓を囲むように教え子たちの墓があります。台湾のお盆ともいえる清明節には、大甲区役所の区長や職員たちも墓を訪れています。

次に文昌祠を訪問。学問の神様が祭られていることもあり、受験生や観光客に人気のスポットです。

哲太郎が教員だった当時、この中に大甲公学校がありました。哲太郎は西隣の一室を宿舎として生活をしながら、子どもたちに勉強を教えていました。そこには現在、「志賀哲太郎記念室」が設けられています。今でも多くの人が訪れており、住民に親しまれていることが伺えます。